

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	コンティニウム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：コンティニウム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：インセプション・ディーシーティーボール

フレアーの幅 インチ

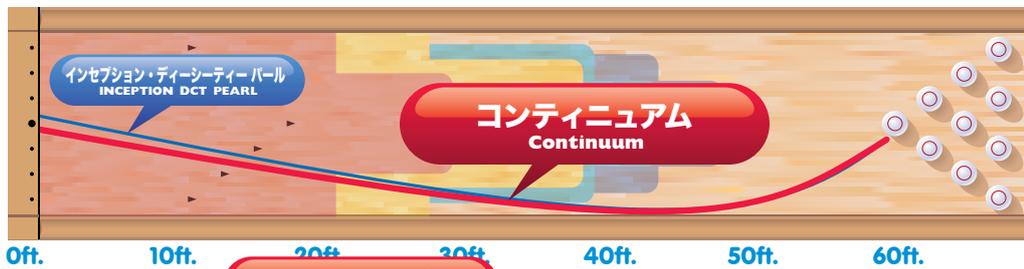
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

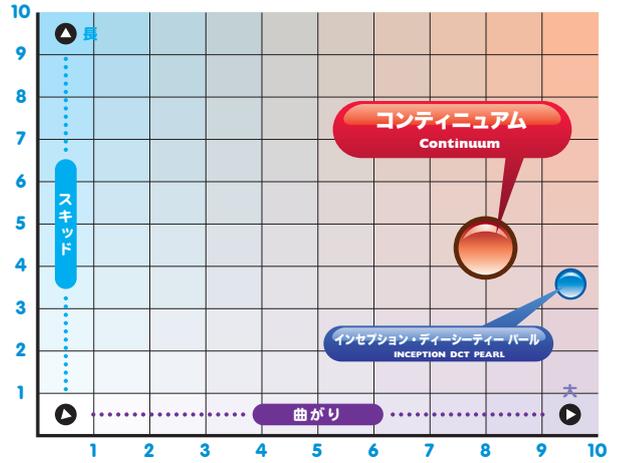
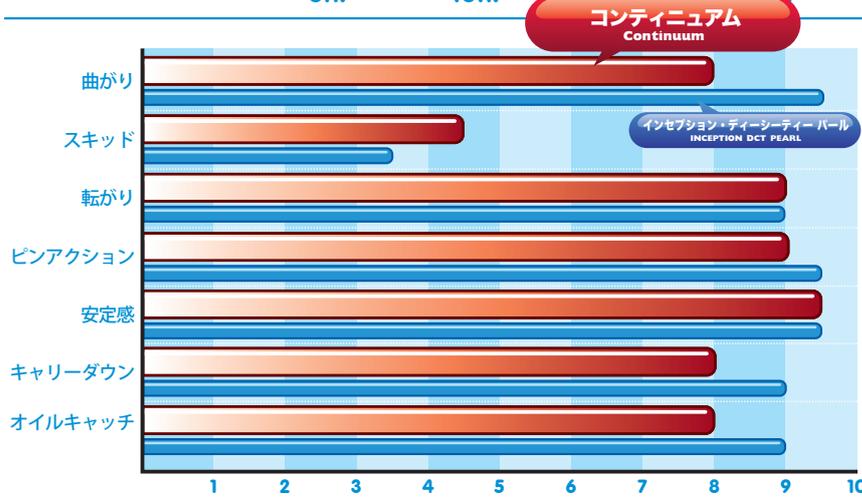
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

900Global社は独自のコンセプトのもと、常に新しいテクノロジーを求め開発を進めています。今回ご紹介するContinuumは、S82RX HybridカバーストックとEllipticon Asymmetricコアというカバーストック・コア共に初の採用と組み合わせになります。扇型と円錐とを組み合わせたオリジナルのEllipticon Asymmetric CoreはRG:2.49、△RG:0.054、Int Diff0.029とここ最近のコア形状の中ではInt Diffが非常に高く設定されているのが特徴です。S82RX HybridはInception DCTのS86Rの次に強さであると同時に"X"EXTREME系のHybridカバーストックであることが伺えます。

テストングをしてみると、はじめにコアの印象を強く感じます。手から放たれた瞬間から素早く転がり、回転初期から大きくネジれる感じが伝わってきます。これはコアの形状が慣性に強く働いているように早めの軸移動が強調しているように思えます。

それを支えるS82RX Hybridカバーストックは、強いカバーストックながら走りを生み出すEXTREME系の配合で、2000アブラロン加工ではありますが、やや走りをイメージさせて作られています。これはコアの持つモーションポテンシャルが強いためカバーストックとのバランスを取ったであろう配合と組み合わせだと思えます。走りの中にキャッチを求め、レーン中盤から大きく、かつ持続的に転がり曲がるイメージを感じます。リアクションはどこかが大きく協調されている感じではなく、弓なりに大きく動く、転がりがピンヒットまで衰えないのが全体像で、同時発売のEONも含めこの転がり感とリアクションイメージは意図的にコントロールと強さに着目し仕上げられているのが分かります。Tour Engineerd 900 Seriesに新たな領域が加わることで、また900Global社盤石の図式が浮き彫りにされることとなるでしょう。

特記事項

新たに加わったS82RX HybridとInt Diffが大きいEllipticon Asymmetric Coreで、弓なりの持続的な曲りを実現。落ち着いたコントロール重視のボールをお探しの方はこのボールはオススメです。